

## 令和8年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行計画書(市町村枠)

(単位:千円)

番号	新規・継続	共通採択方針			事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額 (案)	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
		重点		個別 テーマ									
		人口 減少 対策	過 疎 中										
(相双地方振興局)													
1	継続 3	○		人づくり	子ども達の生き抜く力を育むために～読解力を向上させ、学力向上へつなぐ!～	相馬市	ソフト	7,362	5,521	子どもたちの読解力を向上させ、これからの社会の生き抜く力を養成するため、以下の事業を実施。 ・リーディングスキルテストの受検、結果分析 ・授業改善、公開授業の実施 ・学力調査の実施 ・新聞コラム書写と進路対策講演会の開催	R8.4.1～R9.3.31	相馬市	
2	継続 3	○		交流・関係人口	檜葉の魅力体感PR事業	檜葉町	ソフト	11,997	8,997	観光客数入込数が震災前と比較し低迷しているため、アウトドアイventを通じて積極的に観光資源のPRを行う必要がある。檜葉町＝アウトドアの町として認知してもらうため、以下の取組を実施。 ・天神岬スポーツ公園を活用した分散型アウトドアイventの開催。 ・地域資源を活かしたアドベンチャーレースの開催。 ・天神岬温泉しおかぜ荘におけるサウナコンテンツ強化	R8.4.1～R9.3.31	檜葉町	
3	継続 3	○		交流・関係人口	ふたばまるごと情報発信事業	双葉地方町村会	ソフト	11,363	9,090	・令和7年度に作成した「るるぶ」の増刷(修正あり) ・ふくしまDCに合わせ、浜通りの有人駅や福島空港に設置。 ・各施設・団体(国、県、町村含む)に配布するとともに、主に首都圏を対象としたプロモーションを実施。(県内は、町村会が各施設や団体に「るるぶ」配布(施設やイベント等で配布してもらえるよう依頼する)) ①SA6箇所に春～秋の間に計2回設置 ②三省堂、紀伊国屋書店の計4店舗に設置 ③首都圏大規模店での「るるぶ」の配布(H2Oリテリングやイオン等を想定して今後調整する)	R8.4.1～R9.3.31	双葉郡	
4	継続 2	○		健康長寿	歩行改善教室	浪江町	ソフト	1,390	1,042	身近な健康法として取り入れやすいウォーキングをより効果的に実践するために自分の歩き方の特徴を理解し適切な歩き方を習慣化させることで、生活習慣病の予防につなげる。また、高齢世代については避難先での孤立など外出機会が損なわれている現状もあることから、ウォーキングをきっかけとし、自主的な健康づくりへの意識醸成を図る。 4月:周知・参加者募集 5月末～6月上旬:初回測定会 7月:歩行力アップ教室 9月:中間測定会 11月:歩行力アップ教室 12月:最終測定会	R8.5.1～R9.3.31	浪江町	健康関連事業

## 令和8年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行計画書(市町村枠)

(単位:千円)

番号	新規・継続	共通採択方針			事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額 (案)	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
		重点		個別 テーマ									
		人口 減少 対策	過 疎 中										
5	新規	○		交流・ 関係人口	あぶくまロマンチック街道を巡る 広域連携・共創事業	国道399号あぶくま ロマンチック街道沿 線自治体連絡協議 会	ソフト	11,070	9,370	新たにSNSや情報誌等を活用して県内外に向けた広域的な情報発信に 取り組むほか、沿線のエリアイメージ、関連コンテンツ(観光・食・地元産品 等)の造成・磨き上げ・連結等を行い、沿線地域のさらなる認知度向上を 図る。取組を進めるにあたっては、沿線地域と関わりが深い新たな団体と の連携を強化し、沿線自治体と地域づくり団体等の多様な主体がより広域 的に繋がり、共創することで、効果的に情報発信することを目指す。 ・沿線地域の認知度向上に向けた取組(SNSを活用した広域的な情報発 信、隣県の情報誌を活用した県外からの誘客促進、来訪者が手に取りや すい沿線地域ガイドマップの作成) ・沿線産品の販路拡大に向けた取組(特設販売コーナーのブラッシュア ップ、物産フェア) ・沿線地域の魅力向上に向けた取組(実務者による協議・検討の場、景観 向上活動、道路サイン設置)	R8.4.1～R9.3.31	葛尾村、飯館村、田 村市、川内村、浪江 町	広域連携・共創事 業
6	新規	○		交流・ 関係人口	請戸海水浴場再開事業	浪江町	ソフト・ ハード	9,069	6,801	震災前、浪江町の請戸浜では海水浴場が開設されていたが、津波被害 により請戸地区集落は壊滅し、震災後当該地区は人の住むことのできな い地区となった。 震災から15年が経過した今でも海水浴場を再開できていない状況で、本 事業は復興のシンボルの1つとして、海水浴場の再開を目指す。 請戸浜では令和6、7年度の2年度、海水浴場再開に向け「請戸浜まつり」 を開催してきた。令和8年度については浪江町主導で令和8年8月上旬ご ろから10日程度、海水浴場の再開を実施する計画。	R8.4.1～R9.3.31	浪江町	
7	新規	○		交流・ 関係人口	なみえ水素普及啓発事業	浪江町	ソフト	1,622	1,216	浪江町では「なみえ水素タウン構造」を掲げ、水素を核としたまちづくりを 進めており、福島イノベーションコースト構想の取組により水素関連事業 者の新規進出も始まっている。そこで、これまで町主体で実施してきた普 及啓発活動に新たに水素関連事業者にも参画してもらい、官民一体と なった持続的な普及活動を展開し、町の魅力向上および避難住民の帰 還や新たな移住者の増加に繋げる。 ①水素まつりを町内イベントと同時開催し、町内外問わず多くの来場者に 町の取組や水素事業を実施している事業者を紹介する。 ②地元小中学校にて水素体験教室を実施し、学校教育の観点からカー ボンニュートラルや町の取組のほか、水素ドローン事業者による取組紹介 を通じて、理解を深める。	R8.4.1～R9.3.31	浪江町	
累計					(相双地方振興局)	7件		53,873	42,037				